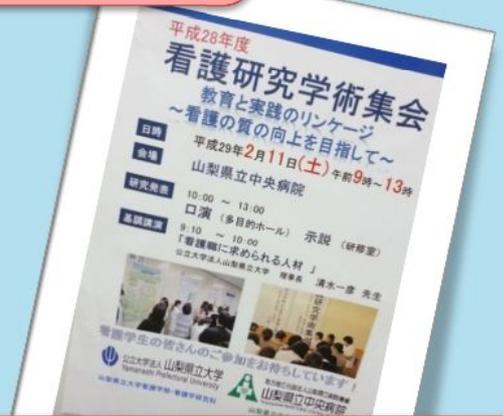


平成 29 年 2 月 11 日

昨年度より山梨県立大学と共同開催となった看護研究学術集会ですが、今年度は「教育と実践のリンケージ～看護の質の向上を目指して～」というテーマの元、口演 11 演題と示説 17 演題の計 28 演題の発表がありました。その内 24 演題は県立看護大学の先生方との共同研究でした。参加者は、院内看護師 144 名、県立大学学生 76 名、大学の先生方 36 名、計 256 名の参加となり、活発な意見交換がされました。



山梨県立大学 看護学部学部長
流石ゆり子先生



基調講演 「看護職に求められる人材」
山梨県立大学 理事長 清水一彦先生



副院長・看護局長 植田美由紀



質疑応答・意見交換も活発に行われました。



総評
山梨県立大学 大学院看護学研究科長
遠藤みどり先生



優秀賞 3 演題が選出され、副院長より表彰されました。

私たちは、患者さんのために看護として何ができるのか、どうしたら最適・最善な看護が提供できるのか、日々考えながら看護を提供しています。研究としてまとめることで、科学的に事象の検証ができ、裏付けを持って看護を実践し、患者ケアの質の向上に繋がっています。